

平成 29 年 10 月 13 日

会 社 名 株式会社ヴィレッジヴァンガード  
コーポレーション

代表者名 代表取締役社長 白川 篤典  
(JASDAQ・コード 2769)

問合せ先 取締役管理本部長 滝島 知樹  
電話 052-769-1150

## 第三者割当てによる行使価額修正条項付第 1 回新株予約権

### の資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月 13 日開催の取締役会において、平成 28 年 7 月 21 日付「第三者割当てによる行使価額修正条項付第 1 回新株予約権の発行に関するお知らせ」において開示いたしました、株式会社ヴィレッジヴァンガード第 1 回新株予約権（以下、「本新株予約権」といいます。）の発行により調達する資金の具体的な使途について変更することを決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。なお、変更部分については、下記「2. 変更の内容」におきまして下線を付しております。

#### 記

##### 1. 変更の理由

当社は平成 28 年 7 月 21 日に本新株予約権の発行を公表し、発行価額の金銭の払込みを受け、新株予約権を発行いたしました。発行当初の資金使途につきましては、①既存事業・成長業態への投資として 500 百万円を平成 28 年 9 月～平成 30 年 8 月までの期間における新規出店店舗への内装設備、初期在庫費用等の出店投資資金として充当、②IT 戦略におけるインフラ構築費用への投資として 250 百万円を平成 28 年 9 月～平成 29 年 6 月までの期間において、販売動向の把握やサービス品質の向上、在庫管理に至るまで、より細分化された情報分析が可能な POS システム、基幹システム、商品施策システムの開発資金として充当、③既存有利子負債の圧縮として 128 百万円を上記①②の支払いを終えた後、平成 29 年 7 月から平成 30 年 8 月までの期間において、子会社の譲渡により増加した有利子負債を圧縮し、財務内容の改善していくために使用していくことといたしておりました。

しかしながら、平成 29 年 6 月 22 日付「As-me エステール株式会社および AE フードアンドダイナー株式会社との業務提携に関する契約の締結のお知らせ」及び同日付「当社フード事業の会社分割（簡易吸収分割）に関するお知らせ」において開示いたしました通り、当社フード事業の多店舗展開を今後、進めていく上での経営資源である出店資金が充分でないと判断し、平成 29 年 8 月 1 日付で当社フード事業について、AE フードアンドダイナー株式会社（現ヴィレッジヴァンガードプレース株式会社）を吸収分割承継会社とする会社分割をし、会社分割の割当てに対する対価として 6 億 5 千万円の金銭の交付を受け、当社が発行済み株式の 10%を取得することにより、成長資金を投下していただきながら共同運営をしていくことといたしました。

これに伴い、本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途の内、①の成長業態と位置付けておりましたフード事業（「HOME COMING」及び「ヴィレッジヴァンガードダイナー」業態）の新規店舗への出店投資

資金の充当先を既存事業である「ヴィレッジヴァンガード」業態の新規出店及び移転店舗への出店投資資金へ変更することといたしました。

当社として、資金使途の変更の合理性につきましては、上記の変更前の手取金の使途に記載されている「① 既存事業・成長業態への投資」として想定されていた出店投資資金につきましては、支出予定時期である平成 28 年 9 月から平成 30 年 8 月の間において、既存事業 10 店舗、成長業態 10 店舗の合計 20 店舗を出店することを策定しておりましたが、既存事業においては、在庫の現金化促進によるアウトレット店舗の出店強化と小規模店舗の出店等で投資額を抑制した出店を行うことで、店舗数は増加することになりました。実績といたしましては、平成 29 年 5 月期における既存事業の新規出店店舗数は 13 店舗(うち在庫の現金化促進のためのアウトレットの出店は 4 店舗、設備費用は 2 百万円となっております)となっております、資金使途 500 百万円の内の 160 百万円、成長業態の新規出店店舗数は 5 店舗となっております資金使途 500 百万円の内の 190 百万円の合計 350 百万円を店舗内装設備費用として使用いたしました。また、平成 30 年 5 月期における新規出店店舗数は本日時点で出店済みの店舗を含め 7 店舗(出店済み 2 店舗、投資資金 90 百万円)、移転店舗は 7 店舗(移転済み 6 店舗、投資資金 43 百万円)の合計 14 店舗を予定しております。これらにより出店費用は 500 百万円を超える見込みであることから、本新株予約権にて調達する資金使途の変更は合理的なものと判断しております。

なお、本新株予約権発行により調達する予定の調達額のうち、手取金の使途における想定金額及び支出予定時期に変更はなく、また、②IT 戦略におけるインフラ構築費用につきましては、運用開始が遅れてはおりますが、開発を終え資金使途予定の 250 百万円を自己資金にて充当いたしております。本新株予約権の権利行使につきましては、行使許可の申請はあったものの、本日現在において権利行使はされておらず、調達する予定としていた資金については自己資金を充当いたしております。

## 2. 変更の内容

### 【変更前】

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

手取金の使途	想定金額	支出予定時期
① 既存事業・成長業態への投資	500 百万円	平成 28 年 9 月～平成 30 年 8 月
② IT 戦略におけるインフラ構築費用	250 百万円	平成 28 年 9 月～平成 29 年 6 月
③ 既存有利子負債の圧縮	128 百万円	平成 29 年 7 月～平成 30 年 8 月

### 【変更後】

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

手取金の使途	想定金額	支出予定時期
① 既存事業への投資	500 百万円	平成 28 年 9 月～平成 30 年 8 月
② IT 戦略におけるインフラ構築費用	250 百万円	平成 28 年 9 月～平成 29 年 6 月
③ 既存有利子負債の圧縮	128 百万円	平成 29 年 7 月～平成 30 年 8 月

## 3. 今後の見通し

本件資金使途の変更に関する業績への影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が発生し、開示の必要性が生じた場合には、速やかにその内容を開示いたします。

以上